



朝風

平成 24 年度
学校 11 月号③
大 仙 市 立
大 曲 南 中 学 校

大曲南地区オープンスクール ～小・中連携環境デー～

- 11 月 22 日 (木) は、恒例のオープンスクールの日でした。南教育事務所の高瀬主任指導主事はじめ、仙北出張所の栗林所長、大仙市三浦教育長、市教育委員会の方々、郡内外の先生方、3つの学校のPTA会員の皆さんが児童・生徒の活動を参観してくださいました。なお、今年から環境教育に取り組んだ大曲西地区(大曲西中・内小友小・大川西根小)のオープンスクールと同日の開催です。
- まずは、2・3年生を対象とした公開授業①「環境出前授業」です。NPO法人気象キャスターネットワークの水越祐一さんとシャープ株式会社の齋藤智恵さんによる「地球温暖化問題と新エネルギー(太陽光発電)」についての講義(と実験)が行われました。



水越さんの地球温暖化の講義



齋藤さんによる手回し発電実験

<水越さんの講義と実験>

- ・台風の発生画像、ゲリラ豪雨、最高気温の推移などの身近な事例から地球規模の温暖化による気象変動について
- ・二酸化炭素が空気に比べ、熱を吸収しやすいことの確認

<齋藤さんの講義と実験>

- ・CO2を発生しない発電方法としての太陽光発電の紹介
- ・4人で手回し発電機で電気をつくる実験と太陽光パネルを使った発電実験



水越さん(左)と齋藤さん(右)

なお、講師の方々に授業後の感想を伺ったところ…。

「とにかくいい子たちで、挨拶がきちんとしている。これは、急にはできないこと。授業もきちんと聞いてくれた。もちろん環境に関する知識も豊富だが、何よりも基本的な学習態度がすばらしい。」

- 次は、小学校5・6年生と中学校1年による**実践**発表とこれからの取組みについての提案です。小学生の発表はもちろん立派だったのですが、それに以上に驚かされたのは、どんどん挙手をして質問する小学生の姿勢です。本校で目指している“TOI JOY”ができていないじゃないか!と感心してしまいました。
- 午後は、市民会館に場所を移しての環境講演会です。講師は、秋田県出身で生物フォトジャーナリスト藤原幸一氏(日テレ『天才!志村動物園』やTBS『情熱大陸』など出演多数)、演題は「地球の声がきこえるー世界中の野生生物からきこえてくる環境破壊のさげびー」です。見せていただいた南極やガラパゴス諸島のゴミの映像はショッキングで、とてもネガティブな気分になってしまいました。でも、講演後の小場さん(1年)の「世界を回って、逆に素晴らしいと思った自然は?」という質問や畠中さん(3年)の「これからは私たち人間が自然に…」という感想はとても前向きで、講師の藤原さんも高く評価しておりました。(ちなみに、藤原さんは素晴らしいものとして、秋田の自然を挙げていました。)



小学生による実践発表



講演後に質問に答える藤原さん